

6/2, -7, 72

共闘、自公系現職破る

東京・杉並区長選 岸本氏が初当選

んなでいいわけじやないか。人ひとりが動き、支援の輪が広がった。みんなの勝利だ」と話していました。

同時実施の区議補選(定数1)では日本共産党的増田赳氏(52)が新進が及ばなかったものの2万5千票を獲得し2位となり、当選した国民党候補に約1万700票差をつけて勝利しました。

題ではない。区民の公共財開票結果は次の通りです。

新無了47号本當譯。公共サービス縮小と強調。

良61無現	767433
-------	--------

視覚から検証される表現

田中裕太郎46無新
1-034807

(51) は「みんなの街はみ
投票率 37・52%



当選して支援者の声援に応える岸本氏（右から2人目）＝20日午後0時半すぎ、東京都杉並区

19日投票の東京都杉並区長選が20日開票され、(47)「無所屬新・日本共産党・立憲民主党・社民党・れいわ新選組・生活者ネット・緑の党・新社会党」の杉並区議会議員を決めるのに日本聯子氏

党推薦が7万6743票(得票率44・41%)を獲
得し、自民党・公明党議員らに推された現職の田中

（61）を1887年で破り初回を出した。
↓関連の回

國政選舉勝利は參院選公
式開票から半日、即ち政
治への怒りと興味共闘の力
を示しました。

事務所に駆け付かた百姓
(51) は「みんなの街のみ
(送信率 37・5%)



聴衆の席捲にこたえる（左から）小池氏、岸本氏、増田さちえ区議候補=17日、東京都杉並区

悪政への怒り 共闘の力示す

杉並区長選 岸本氏勝利

東京都杉並区選で自民党・公明党に推された
公共を取り戻す

東北新幹線開業と同時に、民営・公営競争が推されたため現職を破って当選した。

公共を取り戻す
勝利の大きな要因は、
コロナ禍・物価高の中
で、公共政策の専門家で
もある黒木田の「公共を
取り戻そ」などの訴え
が、多くの住民の心に響
き、公認化を地元業者・企
業・公認化条例に基づいて
しっかりとした雇用で進
めたことで、地域の財産
が守られ、経済も強くなくな
った。凶通は年間一
800億円規模の収集が
達成された。

に驚かされた。日本の新聞では「日本共産党が爆撃した『やせつゝ島の連絡』の船並べーション」と紹介された。

4種類ののぼり

福島瑞穂庄の4種類の
ぼりをついで、街頭では
それすべてを並べて訴
えました。

كِتَابُ الْمُلْك

い地域で生きる私たち
を自治体が守ってくれな

推薦しました。日本では、

てこののが流れである。これを紹介。民族化が具体的な政策能力を弱める一面とも触れ、「今の日本は経済政策は本當に危険」と

出でる事あります。